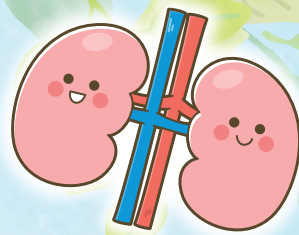


こどもから大人まで

まぶたが腫れて初めて気づく腎臓病 静かにやってくる腎臓病

守ろう腎臓!!



慢性腎臓病はありふれた病気で誰でもかかる可能性があります。患者は日本で1,330万人(20歳以上成人の8人に1人)いると考えられます。

慢性腎臓病の原因の1つとしてメタボリックシンドロームがあります。過食と運動不足によって内臓脂肪が溜まった肥満に、糖尿病と高血圧、コレステロールや中性脂肪などの脂質異常のうち2つ以上合併した状態をいいます。日本で約2,000万人がメタボリックシンドロームと言われています。メタボリックシンドロームがあると慢性腎臓病になりやすいため要注意です。

腎臓は、尿をつくり、体の中の老廃物を捨て、体のバランス(ナトリウム・カリウム・カルシウム・リン・酸アルカリ<pH>)を整え、血圧を調整し、骨や血液を作るホルモンをつくる働きをしています。

慢性腎臓病は早期治療では回復しますが、あるレベルまで悪くなってしまうと治療を行っても治ることはなく、最終的には人工的な腎臓の代替治療＝透析や腎臓移植が必要になります。

慢性腎臓病の初期は自覚症状がほとんどありません。それが慢性腎臓病の怖いところです。初期に自分で症状を自覚できないため、自分が慢性腎臓病であることに気付かず、どんどん進行し、気が付いた時には透析を行わなければならない状態となっていることがあります。

また慢性腎臓病があると、脳卒中や心筋梗塞など腎臓以外の全身の病気の引き金となることがわかっています。食欲低下、倦怠感、貧血、むくみなどの症状が自覚されるときは、すでに慢性腎臓病がかなり進行し慢性腎不全の状態となっている場合が多いです。体調の変化に気を付けるだけでは早期発見は難しいです。早く見つけるため定期的に健康診断を受け、血液検査や、尿検査を受けることが重要です。特にメタボリックシンドロームと診断された方や尿たんぱくが出る方は要注意です。必ず病院を受診し詳しい検査を受けるようにしましょう。

当院の腎・透析センターは、地域に密着した医療提供を目標として、2008年に開設しました。

当院の特徴としては、通院維持透析、急性期疾患、様々な合併症を持つ患者さまの透析を行っています。また自宅での生活が困難となった場合の療養病床も備えています。

2016年の西館オープンに際し腎・透析センター移転増床、透析通信システムを導入し安全性と利便性の向上をはかりました。

透析スペースでは、プライバシーを保ちつつ、透析中も快適に過ごしていただける配慮をし、ベッドの間隔は広めに設計し、空気の清浄化を行いながら快適な湿度と温度を保つ空調システムを採用しています。陰圧個室2部屋を準備し感染症の患者さまにも対応できるようになっています。



午後透析の体制も整え受け入れ人数を増員しており、月水金・火木土、午前、午後ともに送迎サービスを行っています。さらに夜間透析の需要が増えてきたため、月水金に夜間透析を行っています。

入院中の方のお食事には、こだわりを持っています。病状、血液データに基づきますが、厳しい制限でなく、生きる喜びとなる「食べる」を大切にしています。健康食を基本に化学調味料を使用せず、自然の出汁や旨みで調理し、手作りの温かいお食事を提供しています。

地域のために最善の治療を提供することを当院の使命としております。些細な疑問点やご不安なことがございましたら、腎・透析センターまたは内科外来等にお問い合わせをお願いいたします。

腎臓内科・リウマチ科部長 多田 将士 腎・透析センター看護科長 後藤 喜子 臨床工学技術科長 中尾 豊

お知らせ

ホルター心電図検査(7日間)を始めました。

薄く、小さく、しなやかな機器を胸部に装着し、最大7日間の心電図計測を行います。

この検査では、脳梗塞の原因となる不整脈を見つけることができます。

詳しくは内科外来までお問い合わせください。



松尾芭蕉作

すみれ草

何やらゆかし

山路来て



→ 次号は「手の外科について」です

- 3月1日(金)～3月8日(金)女性の健康週間 ●3月1日(金)～3月7日(木)子ども予防接種週間
- 3月3日(日)ひな祭り・耳の日 ●3月4日(月)国際HPV啓発デー ●3月7日(木)消防記念日
- 3月10日(日)～3月16日(土)世界緑内障週間 ●3月14日(木)世界腎臓デー
- 3月20日(水)春分の日 ●3月24日(日)世界結核デー

■ 第204号 2024.3月

■ 発行 済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館

済衆館病院

TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市鹿田西村前111番地

e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com

FAX.0568-22-7494



当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。